

はっぴーバス乗車懇談会 議事録

【日 時】平成23年5月14日（土）

14:00～15:30

【場 所】JA兵庫みらい西在田支店跡2階

出席者：加西市公共交通活性化協議会 専門委員 1名（議長）

NPO法人原始人の会 4名

加西親栄自動車（有） 1名

加西警察西在田駐在所 1名

加西市経営戦略室 5名

※当日参加者 44名

■開会

■出席者紹介、資料確認

■資料説明

議長：「はっぴーバスのしくみ」についての説明（P2、3）

（P2）

はっぴーバスは、加西市公共交通活性化協議会（警察、市の他の部局等により構成）がもとになって、はっぴーバスをどう走らせるかといった計画の策定を原始人の会にお願いし、バスの運転については加西親栄自動車をお願いしている。原始人の会は、使い易いバスの運行計画は考えられるが、運転までは難しいということで、加西親栄自動車にバスの運転をお願いしている。

（P3）

来年2月以降は、原始人の会に全てをお願いすることになる。つまり市の方から見ると、原始人の会にお願いしてバスを走らせてもらう形になる。ただ、バスの整備や運転に関しては、原始人の会から加西親栄自動車にお願いする。使い易いバスにするためには、原始人の会に様々な工夫をしてもらうことが必要。はっぴーバスを根日女の湯まで走らせようというのは原始人の会の提案。これは良案。これからはいろいろな工夫をして頂きたい。以上がはっぴーバスの仕組み。

加西市：乗車人数、住民アンケート結果についての報告（P4～10）

（P4、5）

2月、3月は根日女の湯の無料キャンペーンがあったため、根日女の湯線の乗車人数が多いが、4月からは通常料金となり乗車人数が減った。しかし、様々なメリットを提供すれば、乗る機会が生まれるということが判明した。皆さんが誘いあってバスに乗って頂いたという点では非常に有効であったと認識している。

(P7)

(あくまでアンケートに回答した方の中での比率だが) 事前アンケートで半数以上の方がはっぴーバスに何らかの期待を抱いているという結果が出た。

(P8)

事後アンケートで、はっぴーバスの運行に対して4割の方が「満足している」という結果が出ている。ただ、半数以上が「どちらでもない」「回答なし」となっている。おそらく、乗ったことがない方も回答して頂いたということだろうと思う。市としては、満足している人(=41%)と、満足していない人(=9%)の差がこれだけ出たというのはありがたい事だと受け止めている。

(P9)

事後アンケートより、銀ビルや加西病院、根日女の湯等に行く際にはっぴーバスを利用した方が多いという結果が出ている。ただ、当初想定していたところはあまり利用されていないという結果も出ている。はっぴーバスの不便な点や、ここに行きたいが時間が合わないといった要望等は、このあと原始人の会へ伝えていただきたい。

原始人の会：運賃についての説明 (P11~14)

(P11)

運賃については250円均一を考えている。アンケート結果では200円を希望する方が最も多かったため、200円にしたかったが、収支や今後の事業継続を考慮すると250円で行かざるを得ない。

1回あたり250円で、回数券という形をとりたいと考える。10枚分の料金に1枚余分について11枚というのが一般的だが、9枚セットを考えている。8枚分の料金(2,000円)で、9枚つづりとし、1回当たりの運賃は222円となる。

市から原始人の会への委託料650万円で、原始人の会から加西親栄自動車への委託料が800万円。加西親栄自動車には大変ご無理をお願いしており、800万円というのは本当にギリギリの線。この差額150万円を運賃収入で賄うことになるが、1日28人乗ってもらわないと150万円に達しない。4月の1日当たりの利用者は23.9人(根日女の湯線除く)。これを24人とすると1年間で22万円の赤字。ここに回数券の印刷代、ダイヤ変更時のパンフレット印刷代等の諸経費は一切入っていない。加西親栄自動車への運行費の毎月の支払い

に加え、これらの諸経費も絡んでくるため、1回250円、回数券で222円という金額にはご理解をお願いしたい。

(P12)

回数券は9枚綴りで2,000円。商店や事業所等に協力頂いて特典を付け、皆さんに乗ってもらえるよう努力していきたい。

根日女の湯へ行く場合は、中富口で乗り継ぎとし、222円としたいと考えている。

(P13)

従来のコミバスとの運賃の比較。加西病院専用券(160円)を利用したとして、上万願寺、上芥田北(北条から一番遠いところ)からアスティアまで、従来なら290円、はっぴーバスとコミバス利用では282円となり、従来の運賃とほぼ同じ運賃。上野町や殿原町、広原町等、北条から比較的近いところから乗る方については従来に比べ運賃が上がる形になり申し訳ないが、運行便数が増え、かなり便利になっていること等も考え併せ、ご理解をいただきたい。

(P14)

9月より有料運行、2月より本格運行の予定。

老人会等、町のグループで、はっぴーバスの話をしてほしいという要望があればお伺いする。原始人の会へお電話いただければ、夜間は携帯に転送されるのでどんなことでも電話してほしい。

専門員：原始人の会より、当面は運賃250円、回数券利用で実質222円でいきたいという提案を頂いた。従来のコミバスとの比較で、今まで1日3便×週2日が、1日6便×週5日となり随分変わった。横山巡査部長からも冒頭で交通安全が大事だという話があったが、よく聞くのが、高齢になると運転が心もとなくなるという話。車で外出して帰りが遅くなると、本人は大丈夫だと思っても周りの家族が随分心配する。車が運転できなくなって出掛けられず不便になるといった状況の中で、土日を除く週5日走るはっぴーバスは、利用しやすいものになるはず。

■質疑応答

要望)

はっぴーバスを月6~7回利用している。自動車を運転できないのでありがたいが、中富口での乗換えなしで北条まで乗り入れをしてほしい。また、160円の加西病院乗車券を、個人病院でも利用できるようにお願いしたい。

バスで西在田から北条まで往復すると 880 円かかるが、それでも私はバスを利用したい。アスティアからタクシーだと片道 2,480 円、加西病院であれば 2,700 円かかるので、タクシー利用を考えるとバスは大変助かる。ほかの皆さんにも勧めたい。車に乗っている人ははッピーバスに関心がないと思う。近所の人や家族に送迎を頼むと気を遣うが、バスは自分で行けるので気楽でいい。バスは大変助かる。

回答)

原始人の会：北条までの乗り入れについては、バス事業者に掛け合ったがなかなか実現できなかった。ただ、できないとばかりいってられないので地域で要望をあげることが必要。市も交渉の窓口として進めてもらいたい。

加西市：現在、加西病院利用時には、コミバスの 160 円割引券あるが、個人医院に行かれる方には割引はない。

割引分は市が負担し、神姫バスに支払いをしている。加西病院は入院中心であり、通院は個人病院（かかりつけ医）で対応してほしい、ということ（地域医療連携）もある。貴重なご意見であり、今後の課題としたい。

はッピーバスの北条への乗り入れについては検討したが、神姫バス自体の問題、中富口の行き来だけではなく多可町に行くバスも運行しており、そちらとの絡みもある。要望していく上で皆さんの声や利用実績が今後必要になる。これらの課題、希望を持って皆ではッピーバスを盛り上げていきたい。

専門員：北条への乗り入れについては、池田さんは大変尽力された。運賃を下げると神姫バスの減収につながる。運賃を下げたいが下げると会社がつぶれる可能性も出てくる。神姫の経営が厳しいのは事実。当時はそれほど乗っていなかったため、運賃下げた客が乗るかわからなかった。はッピーバスができたなら、神姫バスの運賃を下げた加西病院に行けるくらいの運賃でいければ随分違うと思う人がこれだけいる。例えば 100 円割引くとこれだけ利用者が増える、という提示をすれば、話はまた違ってくるだろう。交渉当時はどのくらいの要望があるのかわからなかったため、自信を持って言えなかった。実際使ってもらい、北条まで行ければ使い勝手が良くなってみんなが利用しだすのだという声は、交渉する上で力になるので、ぜひ声を挙げてほしい。実際にバスを使ってみて思うことを原始人の会に伝えてほしい。

要望)

神姫バスが走っていた頃（H20.11～H23.1）は、イオンまで直接行っていたが、今はアスティア止まり。アスティアからイオンまで歩くのは簡単だと思われるかもしれないが、足の悪いお年寄りが歩くのは大変。せめてイオンまで行ってもらえば皆喜ぶはず。イオンに

行けば気分転換になる。屋間一人の私が、息抜きにどこか行きたいと息子にお願いしても、息子からは送迎を拒まれる。だからバスでイオンに行ったり、加西病院に行つて 1 日で複数の診療科を回ったりする。JOYあおやま（古坂5丁目の服屋）やおりた外科へ行きたい人もいる。神姫バスはおりた胃腸外科方面への便が少ないので、その方面の便を増やしてほしい。年が行くと自然と足が弱ってくる。皆が喜んで出掛けられるようにしてほしい。

回答)

加西市：現状のコミバス（中富口線）はアスティア止まり。イオンが目の前に見えているが、歩くのが面倒なのは確か。市としてもイオンまで伸ばしたいという思いはある。

現在、市内4系統を2台のバスで回している。極端な言い方ではあるが、1台のバスが青野原まで往復してそこで休んでいるわけではなく、市街地を回ったあと、中富口へ行ったりしている。ダイヤを1分2分変えるにも全体に影響してしまうので、ダイヤ改正は大変な作業。すべての人が満足するダイヤは不可能だが、より多くの人に満足してもらえるダイヤにすることが必要。この地域は便利になっても市街地に入って不便なままだということに対しては、努力して実現に向けて工夫していきたい。イオンまでの乗り入れについては、どんどん市に声を挙げてほしい。後押しを受けて頑張りたいと思う。

要望)

神姫バスやコミバスだけでなく、はっぴーバスも週に2回程度でも病院やイオンに行つてほしい。買い物や食事にも行きたいので、せめてイオンまでは行つてほしい。JOYあおやま方面へも行つてもらえれば助かる。また、原始人会へも食事に行きたいが、現在は中富口での乗り換えに加え、バス停からも多少歩く必要がある。1日のうち1便でも原始人会の交流館まで行つてもらえるようにしてほしい。病院も大事だが、息抜きのため遊びにも行けるようにしてほしい。

回答)

原始人の会：正直な話、当初私の感覚では、お年寄りがイオンには行かないだろう、銀ビルやアスティアでいいだろうと思っていた。これについては大変申し訳なく思っている。イオンまでの乗り入れについては市にお願いしているところ。もう一つ、市役所の近くにはたくさん個人病院ができた。横尾のバス停からマックスバユや個人病院まで歩くには遠いので、何とかならないか交渉中。台所事情もあるだろうが、1つでも実現してもらえるよう交渉していく。西在田では、谷が別れると行き来ができないのが現状だが、診療所や郵便局

ですれ違えるよう検討している。郵便局からは局内で休憩所として利用することは了承済み。原始人会交流館には上野や上芥田、下芥田から来てもらっている。ご理解頂けるなら、1日に何便か乗り入れを考えたい。

専門員：原始人の会が認識違いしていたのは1つではなく、他にもあるはず。認識すらしていないこともあるはず。皆さんが要望をあげることで、バスがだんだん便利になっていく。バスが使いにくくなると減便、減収となり2台が1台になってしまう恐れがあるが、逆に言うと、皆が使うようになれば2台が3台になり、さらに便利になって乗車人数も増える。バスは、乗らないから不便になり、不便だから乗らないという悪循環に陥ることがあるが、坂を転げ落ちるのではなく、逆に坂を登っていくようにしてほしい。足腰がしっかりしている人ははッピーバスの必要性を感じていないということだが、誰しも着実に足腰は弱ってくる。死ぬ直前まで運転することは不可能。本当に必要になったときにはバスがないということにもなりかねない。ここに出席している方は必要性を感じている方だと思う。周りに声掛けをしていくことが大事。

要望)

大内町の一部の道は幅が狭く、誰も乗っていないように思うし、実際バスに乗っていても怖い。やめるわけにはいかないのか。

回答)

原始人の会：当初から大内町は危険だと感じていた。

要望)

はッピーバスが通るようになり地域が活性化している。大内町はどこの道も狭い。しかし、家の近くにバス停があり安心だという声や、バスが走っているのを見ているだけでもうれしいという声がある。現状のままで行ってほしい。

今日は良い話を聞かせていただいた。地域で立ち上げたバスなんだと、先生からのエールだと受け止めている。弱者の足を守るという意味で、少しでも安い運賃で乗せてほしいと思っていたが、説明を聞いて、また運営している皆さんが努力しているのを聞いて、これからはみんなで乗るように努力して、地域で頑張っていくと聞けなかったと感じた。

専門員：P11をご覧いただきたい。黒字分は原始人会の懐に入るわけではなく、運賃の値下げにつながる。皆が乗れば徐々に運賃が下がる。

要望)

はっぴーバスには感謝している。これからみんなで支え、乗って盛り上げていくことが大事。永遠に継続するには皆で乗ることが大事。皆で乗りましょう！

専門員：車乗っている人は将来使うとしても今は関心がなく、将来使うという意識が薄い。どれくらい乗れば採算がとれるか市が試算している。

この地域の住民は約3,000人。4月までの利用者は2,520人。残り500人は乗っていない計算になる。

加西市：地域住民のうち、今乗っていない2,520人が年に1度利用すれば1日あたり10人増え、1日あたり34人になる。黒字分でチケット印刷やダイヤ時刻表の印刷が可能になる。皆が年に1回乗ればはっぴーバスは維持可能ということになる。皆で乗ればバスを存続できる。口コミで少しずつでも利用が広がっていくはず。

原始人の会：私は、はっぴーバスは永遠に継続可能だと思っている。2月3月の実績をみれば顕著。楽しいイベントがあれば乗ってもらえる。回数券に2,000円の特典あれば実質運賃は無料。努力すれば1日45人も夢ではない。当然協力があったこそだが。事業所や企業に相談していきたい。その際、私の勘違いも多々あるはずなので、要望や情報、思いを電話してほしい。1人が思っていれば皆が思っているはず。

小さなパイの取り合いではいけない。家に閉じ込もっていた人が外出してバスに乗れば、各事業所のお客が増え、何か買ってもらえる。要望を全て実現できるとは思わないができる限りやっていきたい。

専門員：はっぴーバスを利用することで楽しみが増える。通常は買い物行くにも主人が運転するが、主人に待ってもらおうとゆっくり買い物できない。バスだと気兼ねなく買い物可能。年に1回なら乗れなくはない。往復なら2回。

原始人の会：はっぴーバスを運行している加西親栄自動車の運転手の方をはじめ、リードしている増田社長には大変感謝している。はっぴーバスの運営をしているのは原始人の会だが、私たちではあれだけのことは到底できない。皆さんにもその感覚を持ってほしい。